

科目名	作曲研究 I～VIII	形態	実技	開講期	春・秋
担当教員	実技担当教員	単位	2	年次	1, 2, 3, 4

＝授業科目の目標＝

独創的な作曲家の育成に取り組むため、「記譜法」「楽器法」「構成法」の3つを徹底的に学び、高度な作曲技法を習得し、オリジナリティの高い、優れた芸術作品の創造と発展を目指す。

＝履修の条件と学習の方法＝

個人レッスンにつき、欠席する場合は必ず事前に各担当教員に連絡をする。

＝授業内容＝

(1年次)

- 1期 古典、ロマン派、近代のピアノソロ作品、ピアノを含む室内楽作品の分析
- 2期 ピアノを含むデュオ作品の提出

(2年次)

- 3期 4楽器以上の室内楽曲の分析
- 4期 ピアノを含まない3-6楽器のためのアンサンブル作品の提出

(3年次)

- 5期 学内作品(自由)
- 6期 歌曲もしくは合唱作品の提出

(4年次)

- 7期 後期ロマン派、近現代のオーケストラ音楽の分析
- 8期 卒業作品(14楽器以上を使用～オーケストラ作品までのアンサンブル作品)

＝成績評価の方法と評価の基準＝

提出作品(楽譜と音源)による審査。ただし、卒業作品については楽譜提出のみ。

＝その他＝

特になし